

平成23年3月3日

発行 さいたま市PTA協議会  
編集 広報・情報委員会  
事務局 さいたま市大宮区大門町3-1  
大宮区役所東館1F  
TEL 048-647-4401  
印刷 秀明美術印刷社



さいたま市PTA協議会

http://www.saitama-city-pta.jp

市P協

# さいたま

今年度は、市P協が設立して  
十周年を迎えた記念の年。  
これまでの市P協の歩みを振り返る。



## 視 設立十周年記念

さいたま市PTA協議会

### 市P協誕生 〜現在

平成十三年のさいたま市誕生を前にした、平成十二年五月より、浦和・大宮・与野各市PTA連合会は情報交換会を重ね、三市P連合会合併協議会を発足、平成十三年五月一日さいたま市PTA協議会が設立した。その後、平成十五年政令指定都市移行に伴い九つの区連合会が立ち上がり、各区三名の理事からなる理事会が組織された。そして埼玉県PTA連合会から独立し、日本PTA全国協議会の会員となり、政令指定都市のPTA協議会としての活動を始めた。さらに平成十七年には岩槻区が加わり、現在、小・中一六四校、およそ九万人の会員を擁する組織となった。

平成二十二年度は設立十周年の節目として、十一月四日に大勢のご来賓臨席のもと、記念式典及び記念祝賀会が盛大に開催された。「子どもたちの笑顔溢れる環境づくり・地域づくり・未来づくり」を基本方針に、二十一世紀を担う子どもたちの健全育成のために活動している。

## 10年間のあゆみ

| 2005 平成17年<br>(会員数87,515名)   | 2004 平成16年<br>(会員数78,703名)   | 2003 平成15年<br>(会員数78,321名)  | 2002 平成14年   | 2001 平成13年  |
|--|--|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○赤城・館若少年自然の家 視察研修 開催</li> <li>子どもたちが宿泊体験する施設に、実際に肌に触れ、保護者の立場で施設のあり方や整備・充実について考える機会として、この年より開催。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○岩槻区が加わり十区で新たなスタート</li> <li>○教育委員会との懇話会 開催</li> <li>情報交換をより密にするため、この年より開催。</li> <li>○広報紙の名前とロゴが決定</li> <li>○役員セミナー開催</li> <li>役員が日々勉強していきつっかけづくりとして、この年より開催。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○さいたま市が政令指定都市に！九つの区連合会がスタート</li> <li>四月、政令指定都市移行に伴い、区制施行に合わせた九つの連合会を立ち上げ、特色のある活動が可能になる体制を整えた。</li> <li>○第二代会長 向江正晃</li> <li>○岩槻市PTA連合会と合併協定を結ぶ</li> <li>さいたま市が岩槻市と合併することに合わせてPTA連合会も合併する運びとなり、合併協定書に調印。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○市P協シンボルマーク決定</li> <li>○市P協ホームページ立ち上げ</li> <li>○第五十回日本PTA全国研究大会 埼玉大会 協力</li> <li>「育もうゆとりの中で生きる力を」を大会スローガンに、長嶋茂雄氏と徳光和夫氏による記念講演と九つの分科会を開催。</li> <li>○初代会長 橋本正晴</li> <li>○広報紙 創立記念号発行</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○さいたま市PTA協議会 誕生</li> <li>一月二十五日 合併決議書に調印。名称を「さいたま市PTA協議会」とする。</li> <li>浦和市P連・大宮市P連・与野市P連が、各ブロック体制で活動。</li> <li>六月二十七日 設立総会・祝賀会開催。</li> </ul> |
| 2010 平成22年<br>(会員数90,184名)   | 2009 平成21年<br>(会員数89,923名)   | 2008 平成20年<br>(会員数89,796名)  | 2007 平成19年<br>(会員数88,931名)   | 2006 平成18年<br>(会員数87,979名)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○第五代会長 磯田和男</li> <li>○市P協設立十周年</li> <li>全国のPTA協議会として、六十一番目に発足したさいたま市PTA協議会は、十周年を迎えることとなった。</li> <li>十一月四日 記念式典祝賀会開催。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○第二回市P協研究大会 開催</li> <li>「家庭教育の向上」について学ぶとともに、各区連合会の活動について情報交換を行い活動の活性化を図ることを目的に、東京聖栄大学教授岡田弘氏の講演と二つの分科会を開催。</li> <li>○市P協ホームページリニューアル</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○館若少年自然の家視察研修 開催</li> <li>平成十七年に始まった視察研修の流れを汲むもので、子どもたちと同じ活動を体験するだけでなく、ボランティアとして「環境整備活動」が新たに加えられた。</li> <li>○第四代会長 渡辺紀子</li> <li>○さいたま市PTA協議会 PTA活動総合補償制度 始まる</li> <li>平成十七年に保険業法が一部改正されたことをきっかけに、市P協独自に設計した補償制度を保険会社に委託することとなった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○第三代会長 天野雅裕</li> <li>○第六十三回指定都市PTA連絡協議会 研究大会をさいたま市で開催</li> <li>豊かな人間関係に基づいた社会に結びつくことを目的に、四つの分科会と二つの「潤いの時間」体験講座を二日間に渡り開催。</li> <li>○日P「中日青少年友好学校交流活動」に協力</li> <li>協力校 八王子中学校・常盤中学校</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○第一回市P協研究大会 開催</li> <li>研究主題を「様々なコミュニケーションの手法を体験を通して学ぶ」とし、六つの分科会を開催。</li> </ul>  |

### 西区 西区連合会

①84,148人 ②8校/4,917人  
③8校/2,698人 ④ —  
⑤馬宮西小学校は、児童数63人の市内最少の小中学校です。  
⑥大宮花の丘農林公園



花の丘



作品展

西区連合会は、PTA活動が大人の自己満足ではなく、「常に子どもがそこにいる」活動を目指し、主催事業として『夏休み小・中学生作品展』と『中学生スポーツ大会』を開催しています。作品展は、各校の夏休み課題などから作品を募って表彰し、西区小中学校の恒例行事となっています。スポーツ大会は、中学校の部活動であるサッカー、野球、ソフト、バスケットなど6種目9競技（平成22年度実績）を開催し、まさに西区カップともいべき大会として定着してきました。今後も子どもたちの笑顔のために活動していきます。

### 北区 北区連合会

①140,744人 ②9校/7,817人  
③6校/3,736人 ④市立大宮北高等学校  
⑤大砂土小学校は、児童数1,282名の市内最大の小学校です。  
⑥さいたま市大宮盆栽美術館



大宮盆栽美術館



総会


北区連合会では、5月の区連総会を軸に、校長会長と会長副会長を2回ずつ行い、区連としての意思決定と各学校間の意見交換を行っています。平成21年4月には市内102番目の小学校として「つばさ小学校」が開校し、新たにPTAも発足しました。各PTAが独自の特色を持った取り組みをしており、最近では父親のボランティア参加の動きも活発になってきています。今後、更に学校と地域とが親密に連携を組んで、のびのびと朗らかな環境作りに取り組んでいきたいと思ひます。

### 見沼区 見沼区連合会

①157,336人 ②11校/8,210人  
③7校/3,256人 ④ —  
⑤大谷小学校には、タケノコを模した「たけちゃん」「のこちゃん」あわせて「ニョッキーズ」というマスコットが制定されています。  
⑥見沼代用水



見沼代用水ヒガンバナ



ふれあいフェア


見沼区連合会では、各校PTAの情報交換と連携を進めており、主な事業としては他区連との合同講演会、校長会長会、会長会、副会長会の開催や、区連広報紙「ふるさと見沼」の発行などを行っています。また、近年では人間関係プログラム、親子支援プログラム、携帯電話の危険性講演会、見沼区ふれあいフェア、PTAコーラス祭に参加、ビーチボール大会なども実施しています。

### 岩槻区 岩槻区連合会

①112,778人 ②14校/6,032人  
③8校/2,862人 ④ —  
⑤桜山中学校は、生徒数201人の市内最少の中中学校です。  
⑥岩槻城址公園



岩槻城址公園



ビーチボールバレー大会

平成17年のさいたま市と岩槻市の合併を機に、岩槻区連合会として加入しました。主な活動としては、児童生徒の安全を守るために各校PTAにおいて通学路の問題箇所・パトロール重点箇所を調査し、市へ改善を求める要望書を提出しています。他に少年非行の抑止を呼び掛けるために、独自にポスターを作製しています。また、会員相互の交流を目的とした「ビーチボールバレー大会」を開催。各校、一般会員チームと役員チームがあり、校長先生・教頭先生も加わり、参加チーム数は50を超える規模です。

### 大宮区 大宮区連合会

①108,921人 ②9校/5,790人  
③7校/2,782人 ④市立大宮西高等学校  
⑤三橋小学校は、隣接の公民館と融合している全国でも珍しい校舎です。  
⑥武蔵一宮氷川神社



氷川神社



総会

大宮区連合会は、各校のPTA会長が全員役員となり、各地域間の連携を深め、タイムリーに情報交換などを行いながら、家庭、学校および地域における最善の教育環境づくりを目指して諸活動を展開しています。主な事業としては、会長校長会、副会長連絡会を年2回開催しています。また、平成19年度からは、他の区連と連携して、2区ないし3区合同開催の講演会や副会長情報交換会などの事業を行っています。

# 市P協10周年記念

## 十区十色

### 各区連合会の活動を一挙ご紹介！



①区人口  
②小学校数/在校児童数  
③中学校数/在校生徒数（特別支援学校含む）  
④市立高等学校（市P協準会員）  
⑤学校トリビア  
⑥おすすめスポット  
平成22年5月現在

市P協のあゆみと共に、各区連合会も10年間の歴史とさまざまな活動がある。10区連合会の充実した活動が、今後の市P協を彩る10色となることを期待し、ここに紹介、さらなる発展を希望。

### 浦和区 浦和区連合会

①146,190人 ②13校/8,965人  
③5校/3,517人 ④市立浦和高等学校  
⑤高砂小学校は、学制発布前年の明治4年（1871年）に開校した市内で最も歴史のある伝統校です。  
⑥調（つき）神社



調神社



グリーン大作戦

浦和区連合会では、各校PTA選出の会員が、総務委員会・事業委員会（事業グループ・広報グループ）の委員となり、力を合わせ、会長会・副会長交流会・他校視察見学会・他区との合同講演会・会長校長会・区連広報紙「うらわっ子」発行などの活動を支援しています。また、特色ある活動に、グリーン大作戦があります。葉は、教室の窓辺の強い日差しを遮り、心を癒し、楽しみ育てたゴーヤの実は格別の味…。危機的な環境問題全般について、子どもたちをはじめ保護者・学校・地域が共に考え実践していくことを願い、企画されました。

### 中央区 中央区連合会

①95,418人 ②8校/5,239人  
③4校/2,126人 ④ —  
⑤与野中学校は、市内小中学校で唯一プールの無い学校です。現在、屋上プールを含む新校舎の新築工事が行われています。  
⑥与野公園



与野公園



情報交換会

中央区連合会では、区連活動を通じた連携・情報交換で、12校の連帯感を高めています。正副会長等で構成する理事会の他、各校PTAの専門委員が参加する広報・成人教育・校外対策の3つの委員会があり、全ての活動を区連全体で行っていることが特徴です。「副会長情報交換会」では、各校PTAの抱える問題や実務レベルの課題などをさまざまな情報交換を行い、「12校合同研修会」では、親の学びを確認し共に成長していく家庭教育学級の一環として講演やコンサートを行っています。区連活動に多くの人が参加し、情報の発信・共有を行うことで、地域に保護者同士のネットワークを築いています。

### 桜区 桜区連合会

①95,643人 ②8校/5,041人  
③4校/2,701人 ④ —  
⑤大久保小学校は、明治6年創立ですが、その起源は天保8年（1838年）に開業した観音寺の寺子屋です。  
⑥田島ヶ原のサクラソウ



田島ヶ原（桜草公園）




あいさつ運動


会長たちの強い結束力と実行力が桜区連合会の最大の魅力であり特徴です。平成22年度より始まった「ハッピースマイル 広げよう～あいさつ運動～」も会長会の多くのアイデアの中から生まれました。9月には独自に制作したのぼりを使ってあいさつ運動を区内の全小中学校で行いました。また「桜区あいさつの種をまこう」と、会長たちが率先して植物の種を袋詰めにしたしおりを制作し、各校での配布活動も始まっています。

### 南区 南区連合会

①175,255人 ②14校/9,978人  
③7校/4,948人 ④市立浦和南高等学校  
⑤内谷中学校は、生徒数1,013人の市内最大の中学校です。  
⑥別所沼公園



別所沼公園



フォーラム

南区連合会では、会長会に毎回20名近い会長たちが集まり、区連の事業や各校PTAでの問題など熱心に話し合っています。このチームワークの良さが特徴です。また、主催事業の一つにフォーラムを開催しています。平成17年に「いじめフォーラム」として始まりましたが、その後区内中学校に在籍しているさわやか相談員さんたちを迎えてパネルディスカッション形式で、子育ての悩みや子どもの成長、親としての心構えなどを話し合っています。これまで5回開催しましたが、毎回たくさんの方の保護者に参加を頂き、有意義な時間を過ごしています。

### 緑区 緑区連合会

①111,627人 ②9校/6,509人  
③6校/3,432人 ④ —  
⑤三室中学校は、上空から見ると校舎が人（文字）の形をしています。  
⑥見沼通船堀



見沼通船堀



熱気球体験

緑区連合会で一番力を入れている活動は、「校長・会長合同研究会」で校長や会長の他、各校役員が集まり勉強会を行っています。平成22年度は熱気球に乗って、地球型熱気球ワンダーグループ号を見下ろし、宇宙飛行の疑似体験を行い、さらに「子どもたちに美しい地球を残すための3つのお願い」というテーマで討議、発表しました。今後もこのような体験や出会いを通して、子どもたちに自然の一員である素晴らしさを伝えていきたいと思ひます。

事業報告

役員セミナー

7月3日(土) 浦和コミセン  
参加:各校PTA役員275名

市P協新役員の紹介、桐淵博教育長の講話「日本一の教育都市を目指して」



第1回懇話会

7月21日(水) 大宮区役所  
参加:市P協理事30名

市教育委員会健康教育課より、学校安全ネットワークの説明など



館岩少年自然の家 視察研修

8月21日(土)・22日(日)  
参加:各区連合会代表46名

周辺環境整備・子どもたち同様の体験学習

日本PTA 全国研究大会ちば大会

8月27日(金)・28日(土)  
千葉市内中心  
参加:各区連合会代表約100名

大会テーマ 「子どもたちのきらめく笑顔のために」  
大会スローガン 「房の国 集い語れば 笑みあり！」

指定都市PTA 情報交換会札幌大会

9月16日(木)・17日(金)  
ホテルロイトン札幌  
参加:市P協代表10名

日P所属13指定都市PTA協議会の連携協力と情報交換

教育委員会交流会

10月8日(金) 浦和ワシントンホテル  
参加:教育委員会代表・各校PTA会長155名

市教育委員会各部署代表とPTA会長の情報交換



役員研修会 人権啓発講演会

11月19日(金) 市民会館おおみや  
参加:各校PTA代表約800名

人権標語と人権作文の表彰、作家で真言宗僧侶の家田荘子氏の講演



第2回懇話会

1月28日(金) 大宮区役所  
参加:市P協理事30名

市教育委員会総務課・健康教育課による土曜チャレンジスクール・学校安全ネットワーク等の報告



自慢の広報紙をコンクールへ

募集

今年度もPTA広報紙コンクールを開催します。3月18日(金)までに、1年分の広報紙を市P協へ送ってください。詳しくは、すでに送付されています「開催要項」をご覧ください。

詳しくはホームページ

さいたま市PTA

検索

ピックアップ

事業報告

『館岩少年自然の家 視察研修』

市P協では平成17年度より、「さいたま市立少年自然の家視察研修」を実施している。当初は、施設や周辺環境の視察と、子どもたちと同様の体験学習といった内容だったが、近年は「館岩少年自然の家」の施設修繕や周辺道路の側溝清掃、木段づくりなどの環境整備も加え、より充実した施設で子どもたちが学習出来ることを願い事業展開している。

このたび、さいたま市立少年自然の家所長の川本先生に、少年自然の家での体験学習の意義や、どんな思いで子どもたちを指導しているのかを伺った。

自然と共に生きる人づくり

館岩少年自然の家のある南会津は、わが国でも有数の豪雪地帯で、三月になっても雪に閉ざされ、遅い春の訪れを待っています。

私は少年自然の家の勤務が、旧市時代の館岩、国立信州高遠少年自然の家、そして、赤城兼務の今回と、これで三回目となりました。

少年自然の家の設置基準は、「ネオンが見えないところ」となっています。そのため、国公立を問わず、山深い場所や海辺にあるのです。これに対して青年の家は、市街地にあってもよいのです。そして、体育館や武道場などを備えているところが多いのです。このことから、少年自然の家は幼少年期に、豊かな自然の中での多様な体験を通して自然への畏敬の念や他者を思いやる心、規律ある態度などを養う機会とする場と言えます。このような体験を積み重ねることがたいへん重要なのです。

ところで、例年、さいたま市PTA協議会の皆様には、少年自然の家の環境整備にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。「来たときよりも美しく」の合言葉のもと、緑の体験学習として、入所する児童生徒の手で環境整備を行ってもらいながら引き継いできたいま市の宝です。しかしながら、広大な敷地を維持・管理していくためには、定期的に大人の手で整える必要があります。ですから、皆様のご支援はたいへんありがたいです。

少年自然の家では、施設の有効活用のために、今後、学校利用のない時期の団体利用を促進してまいります。つきましては、少年団体や青少年育成団体、部活動の合宿等でのご利用をお待ちしております。そこで、PTAの皆様にも、研修や親子での活動等で、ぜひともご利用いただければ幸いです。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

人間は、自然からの恵みと脅威を受け、生活しています。今年、館岩少年自然の家が開所三十周年を迎えるにあたり、子どもたちが自然を知り、自然に感謝し、自然を大切にしたい気持ちを持ってよう、自然体験活動の一層の充実に努めてまいります。そして、自然と共に生きる人づくりこそが、私たちに課せられた使命と肝に銘じ、今後も邁進してまいります。

さいたま市立少年自然の家所長 川本 順一

環境整備活動  
子どもたちの過ごす施設をより良い環境にするために

館岩少年自然の家

赤城少年自然の家

見る、触れる、共につくる。

体験学習  
体験を通して子どもたちの学習を知る

わらそうり作り  
そば打ち  
源流探検  
石臼  
花壇の手入れ  
木段作り  
除草作業

さいたま市内の国立・市立小中高・特別支援学校へ通っている児童・生徒の皆さんの事故を24時間幅広く補償します！

さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度」 加入受付中！

(団体傷害総合保険)

毎年、多くの方々に新規ご加入いただき、現在では約13,100名の生徒の皆様にご加入いただいております

補償制度の特長

1. 一般加入と比べて33.5%割引のお得な保険料 (団体割引30%、優良割引5%適用)
2. 学校管理下・管理外を問わず「24時間補償」
3. 傷害補償は、入院・通院とも「1日目から補償」
4. さらに入院は「1000日まで補償」
5. 加入児童・生徒の扶養者に万一のことがあった場合の「育英費用補償」
6. 加入児童・生徒がストーカー犯罪やひき逃げ事故に遭われた場合の「被害事故補償」

※本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご契約に際してはパンフレットをご参照ください。

当制度のお問い合わせ先・パンフレット請求先

さいたま市PTA協議会「児童・生徒ワイド補償制度」係 (事務局) さいたま市大宮区大門町3-1 大宮区役所東館1F  
取扱代理店: (有) 池田保険事務所  
〒336-0932 さいたま市緑区中尾1424  
【お問い合わせ先】 TEL:048(875)9133 FAX:048(810)1502

引受保険会社(株)損害保険ジャパン(幹事会社)

埼玉支店さいたま支社  
さいたま市大宮区桜木町4-82-1 TEL 048(648)6063  
AIU保険会社 東京海上日動火災保険(株) SJ09-07689 2010年1月26日作成